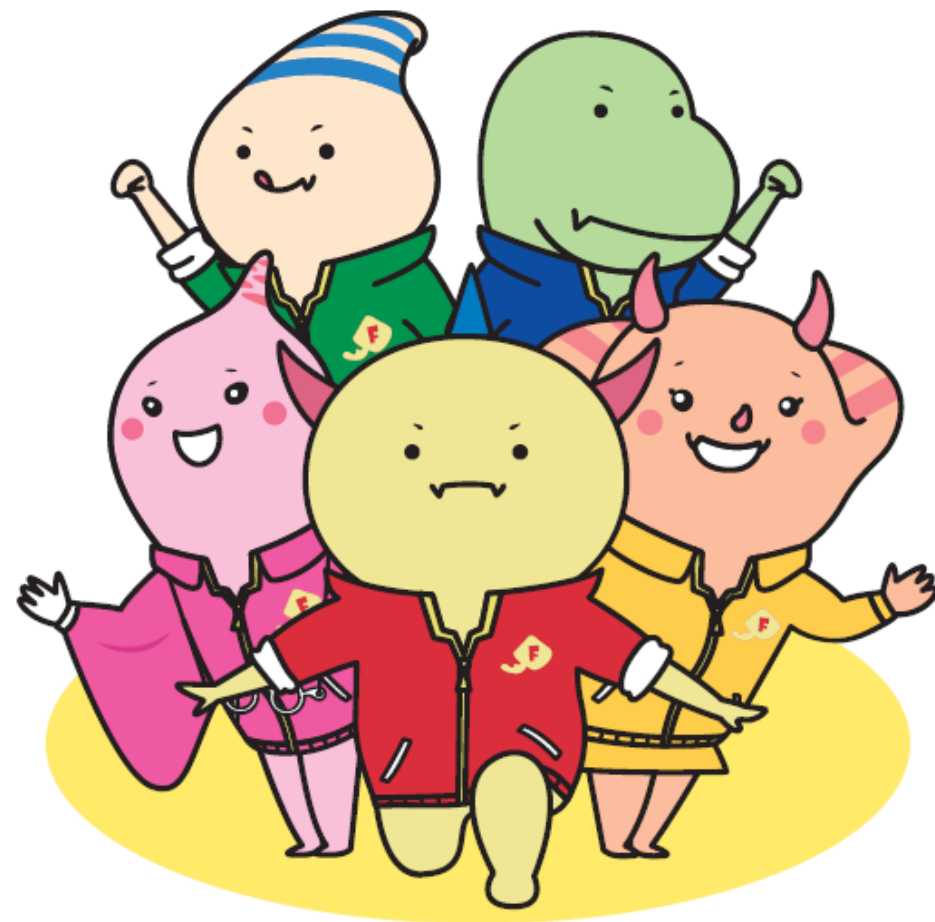




令和4年度 クレドアワード

知事賞
副知事賞 一覧 (19件)





現場部門

災害時緊急バスの運行について		地域戦略部	交通まちづくり課	参事	廣瀬 貴之	課長補佐	川崎 香織	総括主任	粕谷 興正
自伐型林業による移住の推進		農林水産部	森づくり課	主任	田中 康晴				
令和4年8月大雨の災害復旧									農林水産部対応職員一同 土木部対応職員一同


挑戦部門

若者のチャレンジを応援！		地域戦略部	県民活躍課【COD】		チャレンジ応援ディレクター 寺井 優介				
フェス（フクション！フェス）開催による共生社会の推進		健康福祉部	障がい福祉課	主任	嶋川 久誉	主査	藤本 達哉	主事	伊藤 杏奈
新九頭竜橋開通（全国初の併用橋および効果検証）		土木部	福井土木事務所道路第一課	主任	野田 卓史	企画主査	浅岡 荘平	主査	武澤 宗太郎
アニメで土木職魅力発信		土木部			土木管理課 企画主査 柴田 聡	土木部河川課 主任	笠嶋 崇弘		奥越土木事務所 主事 山内 理瑚 他アニメチーム員
手数料納付方法の多様化		会計局	審査指導課	主事	渡邊 健太郎				


協働部門

災害廃棄物の円滑な処理		安全環境部	循環社会推進課	主事	森 智仁						
産業労働部クレドの策定		産業労働部			政策推進グループ 主事 小林 慶	産業政策課 主事	玉木 里英	国際経済課 主事	藤本 優太	企業誘致課 主事	玉村 陽菜
新品種米による輸出拡大		農林水産部	流通販売課		創業・経営課 主事 恩地 美里	産業技術課 主事	松原 達宏	労働政策課 主事	森川 健介	公営企業課 主事	印牧 大貴
全国高校生プレゼン甲子園をスケールアップ ～全国の高校生が挑む大会に～		教育庁	高校教育課	参事	西東 一彦	主任	吉村 公彦	指導主事	甚佐 直樹		

創意工夫部門



「ナッジ」を活用したPRにより鉄道利用を促進		地域戦略部	地域鉄道課	主事	酒井 和貴	主事	市岡 優希		
新博物館の魅力アップ		交流文化部	文化課		文化施設G	一乗谷朝倉氏遺跡博物館	館員		
住まいの情報をYouTubeで紹介		土木部	建築住宅課	主事	川端 慎司	主任	谷口 忠広	企画主査	前田 和磨

効率化部門

20%ルールを活用した庁内事務の効率化		総務部	人事課	企画主査	伊藤 啓二						
申請業務のデジタル化による業務改革		地域戦略部	D X推進課	主事	朝日 江里久						
運転日誌アプリを自ら作成・庁内で共有！		土木部	丹南土木事務所	主事	横田 仁志	主任	中西 直之				
物品マッチングの仕組み化		会計局	会計課		業務改善タスクフォース物品マッチング班（5名）	審査指導課 主任	湯浅 一基	会計課 主任	水上 知子	企画主査	水島 克己

現場部門

現場部門

災害時緊急バスの運行について	 特別賞	地域戦略部 交通まちづくり課	参事 廣瀬 貴之	課長補佐 川崎 香織	総括主任 粕谷 興正
自伐型林業による移住の推進		農林水産部 森づくり課	主任 田中 康晴		
令和4年8月大雨の災害復旧	 特別賞		農林水産部対応職員一同	土木部対応職員一同	

災害時緊急バスの運行について【現場】

🏆 特別賞

(1) 候補者

地域戦略部交通まちづくり課 参事 廣瀬 貴之 課長補佐 川崎 香織 総括主任 粕谷 興正

(2) 成果

- ・昨年8月4日からの大雨で嶺北と嶺南の交通が遮断され、県民生活に大きな影響が生じた際、国、県警、NEXCOなど関係機関と協議を行い、**武生駅～敦賀駅間で災害時緊急バスを運行** 県民の通勤・通学などの移動手段を確保した
 - 運行期間：8月8日～10日
 - 運行体制：〔8日〕国・県警（パトカー先導）と連携し、緊急車両として通行止めの国道8号を運行
〔9日、10日〕国道8号が片側交互通行となり、円滑な輸送を確保するため、NEXCO 中日本と協議し北陸自動車道を緊急車両として運行

利用者：延べ5,176人

(3) クレドの実践ポイント

- ・国、県警、NEXCOなど関係機関が連携し、前例のないバスを緊急車両として運行することを実現（挑戦、協働）
- ・運行中の課題は関係機関が連絡を取り、その場で調整（効率化）



JR武生駅からパトカーで先導



JR武生駅前

自伐型林業による移住の推進【現場】

(1) 候補者

農林水産部 森づくり課 主任 田中 康晴

(2) 成果

- ・ **全国初となる自伐型林業者向けの移住給付金制度** を事業化
- ・ 自伐型林業団体や福井市と連携し、全国の自伐型林業希望者を対象とした体験イベントを県内で開催し、自伐型林業の普及と移住者確保にむけた行政支援をPR（全国から約100名が参加）
⇒ 令和4年11月 **兵庫県から（40代女性）福井市美山地区へ移住**し自伐型林業を開始
※その他2名が移住を検討中

(3) クレドの実践ポイント

- ・ 全国規模で活躍する県内の自伐型林業者や福井市と連携して、課題や対応策について協議を重ね必要な施策を立案（現場、協働）
- ・ 雇用を条件とした従来の移住支援ではなく、自伐型林業で自立をめざす移住者に対する支援制度を新たに創設（挑戦）



令和4年8月大雨の災害復旧【現場】

🏆 特別賞

(1) 候補者

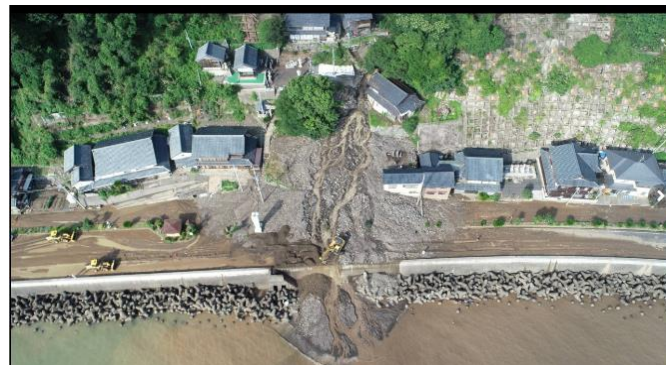
農林水産部 農村振興課、県産材活用課、森づくり課、各農林総合事務所農村整備部・林業部
 土木部 道路建設課、高規格道路課、道路保全課、河川課、砂防防災課、都市計画課、建築住宅課、
 奥越土木事務所、丹南土木事務所、敦賀土木事務所はじめ各出先事務所
 および災害対応に従事した応援職員

(2) 成果

- ・ 8月4日から5日の大雨に伴い、勝山市や南越前町など嶺北を中心に洪水や土砂崩れなどが発生
- ・ 南越前町と敦賀市の間で北陸自動車道や国道8号などが通行不能となり、嶺北と嶺南の交通が分断
- ・ 被災した河川や道路、農業用施設などについて、**速やかに応急復旧工事を行い**、河川の護岸や道路、砂防・治山等施設、九頭竜川パイプライン等の農業用施設などを**早期に機能回復**

(3) クレドの実践ポイント

- ・ 連日、現場にて進捗状況を確認しながら打合せを行うなど、業者や関係機関と連携しながら、迅速に対応（現場）



国道305号（しおかぜライン）



鹿 蒜 川

挑戦部門

挑戦部門

若者のチャレンジを応援！	地域戦略部 県民活躍課【COD】	チャレンジ応援ディレクター 寺井 優介
フェス（フクション！フェス）開催による共生社会の推進	健康福祉部 障がい福祉課	主任 嶋川 久誉 主査 藤本 達哉 主事 伊藤 杏奈
新九頭竜橋開通（全国初の併用橋および効果検証）	土木部 福井土木事務所道路第一課	主任 野田 卓史 企画主査 浅岡 荘平 主査 武澤 宗太郎
アニメで土木職魅力発信	土木部	土木管理課 企画主査 柴田 聡 土木部河川課 主任 笠嶋 崇弘 奥越土木事務所 主事 山内 理瑚 他アニメチーム員
手数料納付方法の多様化	会計局 審査指導課	主事 渡邊 健太郎

若者のチャレンジを応援！【挑戦】

(1) 候補者

地域戦略部県民活躍課 チャレンジ応援ディレクター 寺井 優介

(2) 成果

- ・県内で活躍する若者の活動やイベント情報を自分および「チャレンジ応援チーム」のSNS（フェイスブック、インスタグラム、ツイッター）で毎日投稿（1か月あたりの**閲覧数は約2万人**）
- ・**月1回ペースで若者向けのイベントを実施、エキセントリック・カレッジを開校**
- ・民間企業と連携し、アプリ「福井県若者情報発信局」を制作 これまでに150件以上のイベントおよび140人以上の若者が自分の紹介を登録
- ・全国の地方公務員から選ばれる「地方公務員アワード」**受賞**

(3) クレドの実践ポイント

- ・自らが若者に直接会いに行き、330人以上に取材を行った（現場）
- ・SNSを毎日投稿するという挑戦を続けた（挑戦）
- ・民間企業と連携することで、県予算ゼロでアプリを制作した（協働）
- ・エキセントリック・カレッジで25人の受講者を育成中（創意工夫）



若者の取材の様子

フェス（フクション！フェス）開催による共生社会の推進【挑戦】

（1）候補者

健康福祉部障がい福祉課

主任 嶋川 久誉
主事 伊藤 杏奈

主査 藤本 達哉



（2）成果

- ・ **障がい者と健常者がコラボする大規模フェス**（フクション！フェス）を県で初めて開催
[10月15日（土）～16日（日） サンドーム福井（福井ものづくりキャンパス）]
- ・ ステージパフォーマンスや障がい者スポーツ体験、手話カフェ、アート展示、商品販売など多彩な企画を行い、様々な側面から障がい者福祉を見て、知って、楽しみながら触れてもらう機会を創出
- ・ **2日間で 計2,000人超** の県民が来場

（3）クレドの実践ポイント

- ・ 魅せ方や企画内容等について、デザイナー等と度重なる議論を重ね、前例のないイベントを成功させた点（挑戦、協働、創意工夫）
- ・ 多くの県民に来場していただくため、他のイベント（スポカルFUKUI～はぴりゅうフェスタ2022～）と同時開催した点（創意工夫）



新九頭竜橋開通（全国初の併用橋および効果検証）【挑戦】

（1）候補者

福井土木事務所 道路第一課 主任 野田 卓史 企画主査 浅岡 荘平
主査 武澤 宗太郎

（2）成果

- ・ **全国初の新幹線との併用橋**の実現により、**約30億円**の事業費を削減
- ・ 常に工期短縮を意識して工程管理や関係者協議を行い、予定（令和4年度末）より約半年早く降雪期前の開通（令和4年10月22日）を実現
- ・ 新九頭竜橋が架かることで周辺道路の渋滞緩和が期待される中、職員自身が、車で九頭竜川を渡る周辺道路の通行時間を供用開始前と開通後に測定することで、開通による周辺道路の渋滞緩和効果を迅速かつ定量的に提示。道路利用者や一般県民に実感しやすい指標を提示し、新橋の開通効果や公共事業に対する理解を促進

（3）クレドの実践ポイント

- ・ 事業者の垣根を超えた全国初の新幹線との併用橋の実現によりコスト削減を実現（挑戦）
- ・ 現場を起点に関係者協議を迅速かつ適切に行い、開通日を前倒しした。（現場）
- ・ 通常は一日当たりの交通量（車両台数）で比較するが、短時間で測定可能かつ**利用者に分かりやすい指標（朝夕渋滞時の通過時間）**を用いた。（創意工夫）
- ・ 開通効果を定量的に示す必要性を早期に認識し、事前準備を行い、職員自身が通勤時を利用して、開通前後各3日間の通過時間を計測した（挑戦）



アニメで土木職魅力発信【挑戦】

(1) 候補者

土木部土木管理課 企画主査 柴田 聡 土木部河川課 主任 笠嶋 崇弘
 奥越土木事務所 主事 山内 理瑚 他アニメチーム員



東温泉ヒカリ

マジデ・マジデオ

(2) 成果

- 近年、採用倍率の低下等の状況が続いている
- 土木（総合）職の業務の魅力を発信するアニメ動画を制作**（約5分×3話）
- 就活イベント等に4回参加、自主作成したパンフレットを送付し、2千人以上の学生にアニメ動画を活用したPRを行うなど精力的に活動を実施
- 全国的にも珍しい取組みであり、チームの活動はメイキング番組としてテレビ放送され、さらにアニメの動画再生回数は公開後の約半年間で 6万回以上を記録

(3) クレドの実践ポイント

- 制作にあたり、職員の発案で**県の若手職員、建設業協会、学生など**
ストーリー構成や効果的な情報発信方法を検討
- アニメキャラクターの活用事例集を作成・周知（事業パンフレットやPR動画などで継続的に活用）



手数料納付方法の多様化【挑戦】

(1) 候補者

会計局審査指導課 主事 渡邊 健太郎

(2) 成果

- 福井県の各種手数料は、福井県証紙でのみ納付されていたが、証紙は購入場所や購入時間が限られているため、[手数料納付システム](#)を導入し、新たにコンビニ納付やクレジットカード納付を追加
- 800種類以上の手数料**について、証紙を購入する必要がなく、**24時間いつでもどこでも納付が可能**となった

(3) クレドの実践ポイント

- 県民の利便性向上のため、関係者と協議し、使い易いシステムの構築（創意工夫）
- 従来の福井県証紙制度の代替手段として新たな納付方法の実現（挑戦）

1 入力 2 確認 3 完了

納税証明書交付手数料

必要事項を入力して「確認画面へ」ボタンをクリックしてください。

手数料額（単価）	400 円
申請数	1
手数料合計	400 円
お支払総額	400 円

申請者名 【必須】

全角60文字以内で、姓名の間にはスペースを入れてください。
団体名の場合はスペース不要です。
例) 横井 太郎

連絡先電話番号 【必須】

半角数字（ハイフンなし）
例) 09099999999

メールアドレス 【必須】

例) xxxxx@xxxxxxxx.xx.xx

ご利用規約について
※リンク先のページを確認してください。



上記の「ご利用規約について」同意する 【必須】

私はロボットではありません
reCAPTCHA
プライバシー - 利用規約

確認画面へ

協働部門

協働部門

災害廃棄物の円滑な処理		安全環境部 循環社会推進課	主事 森 智仁
産業労働部クレドの策定	副知事賞 	産業労働部	政策推進グループ 主事 小林 慶 産業政策課 主事 玉木 里英 国際経済課 主事 藤本 優太 企業誘致課 主事 玉村 陽菜 創業・経営課 主事 恩地 美里 産業技術課 主事 松原 達宏 労働政策課 主事 森川 健介 公営企業課 主事 印牧 大貴
新品種米による輸出拡大	副知事賞 	農林水産部 流通販売課	流通販売課主任 増田 周太 農業試験場 主任研究員 小林 麻子
全国高校生プレゼン甲子園をスケールアップ ～全国の高校生が挑む大会に～		教育庁 高校教育課	参事 西東 一彦 主任 吉村 公彦 指導主事 甚佐 直樹 指導主事 家根谷 直登

災害廃棄物の円滑な処理【協働】

(1) 候補者

安全環境部 循環社会推進課 主事 森 智仁

(2) 成果

- ・ 災害廃棄物の仮置場の運営や分別処理等に、(一社) 福井県産業資源循環協会が早急に協力・支援できるように **協定を見直し** (5月)
- ・ 8月の大雨災害時には、国や南越前町、協会と現地で対応を協議し、**災害発生日の二日後には仮置き場が設置**されるとともに、現場の状況に合わせた追加設置など、速やかな応急対策を実施。
- ・ その後も連日現地を訪れ、町に対して廃棄物の分別・処分方法等の相談に丁寧に対応

(3) クレドの実践ポイント

- ・ 現場で町へのサポートを強力に行うことにより早期復旧に貢献 (現場)
- ・ 協会との協定再締結の機会を逃さず、災害廃棄物の円滑な処理方法について役割や手順を整理することで、迅速な初動対応を実現 (効率化)
- ・ 県が協会や国との間の調整役となりスムーズな連携を行うことにより町の負担を軽減 (協働)



旧今庄中学校に開設された廃棄物仮置場

産業労働部クレドの策定【協働】

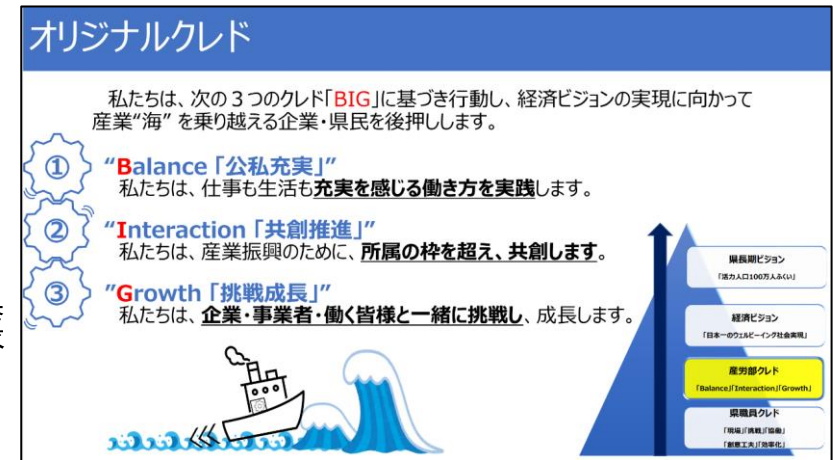
副知事賞

(1) 候補者

産業労働部政策推進グループ主事 小林 慶、産業政策課主事 玉木里 英、国際経済課主事 藤本 優太、企業誘致課主事 玉村 陽菜、創業・経営課主事 恩地 美里、産業技術課主事 松原 達宏、労働政策課主事 森川 健介、公営企業課主事 印牧 大貴

(2) 成果

- 産業労働部が経済ビジョンの将来像実現に向けた官民連携の活動をけん引していくため、職員の前向きな挑戦を奨励する組織文化の醸成・定着を規定した**オリジナルクレドを策定**
- 部内アンケートを2回実施し、組織間の連携・コミュニケーション不足など、職員の抱える課題解決に資する行動指針を検討



(3) クレドの実践ポイント

- クレドを策定するだけでなく、**組織に根付かせるための具体的なアクション集をあわせて作成**（創意工夫）
- 業務多忙の中、短期間で完成度の高いクレドをとりまとめた（効率化）



新品種米による輸出拡大【協働】

副知事賞

(1) 候補者

農林水産部流通販売課 主任 増田 周太
農業試験場 主任研究員 小林 麻子

(2) 成果

- ・国内のコメ消費が減少する中、多収でコシヒカリ並みの良食味の **輸出専用新品種を開発**
- ・海外でも通じ、大粒で白く輝くという特徴をイメージできる **「シャインパール（輝珠）」**と命名
- ・JAと協力して **栽培面積を拡大**（R3：0.6ha → R4：32ha）し、今年から輸出開始 将来、1,000トン/年の輸出を目指す
- ・国内外へのPRのため「名称発表・初出荷セレモニー」を12月に敦賀港にて開催 民放2社・新聞4紙報道

(3) クレドの実践ポイント

- ・JA、県、ジェトロ、県農業再生協議会で作る「米輸出産地づくりチーム」において、生産から流通に関する様々な課題等を検討して、12月には名称発表、初出荷を実現



全国高校生プレゼン甲子園をスケールアップ～全国の高校生が挑む大会に～ 【協働】

(1) 候補者

教育庁高校教育課 参事 西東 一彦 主任 吉村 公彦 指導主事 甚佐 直樹 指導主事 家根谷 直登

(2) 成果

・前年度を上回る規模で開催（令和4年度）

- ・「BSよしもと」など20社を超えるメディアに働きかけてPR（職員出演、Webサイトへの掲載）
- ・県内外の企業等を訪問し、福井銀行やフクビ化学工業など11社からの協賛
- ・**34都道府県から 441チーム が応募**

（R3:29都道府県 409チーム）

・大会をさらに全国規模へ拡大（令和5年度）

- ・新たに**伊藤忠商事、AGC、日本マイクロソフト社、文部科学省が協賛・後援** 全国を7つに区分し、新たにブロック大会を開催


(3) クレドの実践ポイント

- ・職員が企業やメディアに積極的に周知・訪問 「高校生を応援してほしい」という熱意が伝わり企業等の自発的な行動にも繋がった
（メディアによるPR、スポンサー賞・トロフィー等副賞の提供）
- ・令和5年度はさらに協賛企業が増え応援の輪が全国に拡大する見込み



創意工夫部門

創意工夫部門

「ナッジ」を活用したPRにより鉄道利用を促進  特別賞	地域戦略部 地域鉄道課	主事 酒井 和貴 主事 市岡 優希
新博物館の魅力アップ	交流文化部 文化課	文化施設G 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 館員
住まいの情報をYouTubeで紹介	土木部 建築住宅課	主事 川端 慎司 主任 谷口 忠広 企画主査 前田 和磨

「ナッジ」を活用したPRにより鉄道利用を促進【創意工夫】

(1) 候補者

地域戦略部地域鉄道課 主事 酒井 和貴 主事 市岡 優希

🎯特別賞

【ナッジとは】

人の心理効果や意思決定の癖を用いて、望ましい行動を促す手法（そっと後押しする）

(2) 成果

- 自動車通勤から電車通勤に切り替える **メリットを具体的な数字で提示**するとともに、**インパクトのあるイラスト**を付けて、情報誌や県HP、県LINE等で発信 (R4.11開始)
- 県HP開始後2週間で 3千人 を超える閲覧があり、分かりやすいとの評価は 8割 を超える
- 個人や団体のTwitter、Facebook等のSNS上でも、拡散が見られる
- 福井鉄道、えちぜん鉄道の通勤定期利用者は、コロナ前の令和元年度を超えている

(12月実績 福井鉄道 + 10.7%、えちぜん鉄道 + 1.5%)

(3) クレドの実践ポイント

- 鉄道利用を促すキャッチコピーに「ナッジ」を活用するとともに、具体的なメリットを示すことで、分かりやすく県民に訴えた



福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県会議
福井情報宅配マガジン「ファミリー」



福井県LINE (全8回)

福井情報宅配マガジン「ファミリー」

新博物館の魅力アップ【創意工夫】

(1) 候補者

交流文化部 文化課 文化施設G
一乗谷朝倉氏遺跡博物館 館員

(2) 成果

- ・福井駅前でのサテライト展示や愛称募集、テレビ番組「笑点」を活用したPR、100日前イベントの開催など、県民の関心を盛り上げる広報を展開し、**開館後57日で 来館者5万人 を達成**
- ・地元特産品を用いたカフェのオリジナルメニュー18種や、遺跡から出土したガラス器を再現したゴブレットなど、博物館でしか買えない商品120種を開発
- ・戦国時代にタイムスリップするAR・VR開発など、遺跡全体の観光エンタメ化を図り、遺跡全体の**観光客が 33%増加(同期比)**

(3) クレドの実践ポイント

- ・限られた時間の中で、知恵を出し合い博物館の魅力アップ（創意工夫、現場）
- ・全国放送の利用など話題となるPRの実施（協働）



AR記念撮影機能

アプリオリジナルフォトフレームで、アプリに登場する戦国時代の人々と一緒に記念撮影をしよう！

#戦国時空伝
を付けてSNSに
投稿しよう！

住まいの情報をYouTubeで紹介【創意工夫】

(1) 候補者

土木部建築住宅課 主事 川端 慎司 主任 谷口 忠広 企画主査 前田 和磨

(2) 成果

- ・ **県の住宅施策や住まいに役立つ情報に関する動画を作成**、取材・撮影・編集に至る一連の作業を職員自らが実施し、[YouTubeで配信](#) (2/15現在 動画数9タイトル43本、視聴回数 12,407回)
- ・ 空き家の活用アイデア募集の際には、対象物件をルームツアー形式で紹介、遠方の方にも物件の外観、内観等の状況が分かるよう工夫(11/11配信開始、2/15現在 視聴回数 2,758回)
- ・ 住宅の耐震化促進のために作成した動画は、テレビのニュースに取り上げられ、放送後の県民からの **相談件数は増加** している


(3) クレドの実践ポイント

- ・ 動画作成に関する知識や技術が無い状態で、取材から編集までの作業を職員自らが費用をかけず実施した点 (挑戦、創意工夫)
- ・ テロップや画像の挿入、動画1本あたりの時間を短くするなど、県民に必要な情報を分かりやすく、コンパクトに伝える編集を心掛けた点 (創意工夫)



効率化部門

効率化部門

	20%ルールを活用した庁内事務の効率化	総務部	人事課	企画主査 伊藤 啓二
	申請業務のデジタル化による業務改革	地域戦略部	D X 推進課	主事 朝日 江里久
	運転日誌アプリを自ら作成・庁内で共有！	土木部	丹南土木事務所	主事 横田 仁志 主任 中西 直之
	物品マッチングの仕組み化	 特別賞	会計局 会計課	業務改善タスクフォース物品マッチング班（5名）
				審査指導課 主任 湯浅 一基 会計課 主任 水上 知子 企画主査 水島 克己 未来戦略課 主任 小西 富美子 人事課 主事 桑原 恵理

20%ルールを活用した庁内事務の効率化【効率化】

(1) 候補者

総務部人事課 企画主査 伊藤 啓二

(2) 成果

- ①R3年度：会計課住民税の市町納付事務について、**短期間でシステム化(約2か月)**し、
該当事務による**超過勤務時間を半減**(繁忙期2か月計48.5時間→23時間)させた

➡ エクセル・紙でのチェック→システムにより自動化

- ②R4年度：スキルマッチングシステムにて作業自動化を受注

➡ 繰り返しの作業となる、複数のCSVファイルの集計作業の自動化 事務担当の業務率化に期待

(3) クレドの実践ポイント

- ・ 会計課事務担当の業務時間を大幅に削減（挑戦・効率化）
- ・ 自身の担当業務外の作業に積極的に関わり、単に電子化するのではなく担当課と打合せを繰り返し、業務の目的や必要性を考え、最適なシステムを作りあげた（協働・創意工夫）
- ・ 20%ルールを活用し、自身の業務も効率化させ、作業時間を捻出（効率化）
- ・ **i-JAMPにも掲載（R4.9.16）官庁速報ランキングのトップ3に入り、全国的にも注目度が高い**

【20%ルール】

所属長への届出により、勤務時間の一部（20%以内）を担当業務以外に充てることができる

【スキルマッチングシステム】

業務で困った所属が、全庁に向けて応援を呼び掛け、解決可能な職員とマッチングすることで県庁全体で業務効率化と職員のスキルアップを促進するシステム

得意を活かして「もっと!」連携!

福井県庁には様々なバックグラウンドを持つ方が働いています。

- ・ 民間企業・市庁・市町から採用している方
- ・ 福井県庁で働く前に、民間企業で働いていた方
- ・ 県職員の経験のうち、企業支援、防災等の特定分野の経験が長い方 など

それぞれの「得意」を活かしてアイデアを出し合い、協働して事業を進めることができます。それは、とれた時の大きな力になるでしょうか?

福井県庁では、自分の経験・特技を活かして、担当以外の業務に参画できる「ふくい式20%ルール」制度を導入しています。

今回は20%ルールを活用して、多分野において活躍する先駆者に声を当てます。

最初に、前職5年の経験を活かしたシステムを構築して、住民税に関する事務を効率化した人事課 伊藤さんにお話を伺いました。

〇今回、20%ルールを活用した「会計課 住民税の市町納付事務の効率化」の取り組みとして、県職員による自身の紹介をされている方は、県庁取材からの「住民税の納付データ」をもとに自身の得意分野を得意分野(得意)として紹介しています。

〇取材は自身の得意分野から住民税の「納付データ」をとりよめて各所属に届ける準備が完了していますが、その際に自身の得意分野から届けた「納付データ」が、どの所属にも届くことがありません。

〇県庁には、今までは基本的に一人ひとりの得意分野を把握し、手配の理由を添った紹介がほとんどでした。

〇県庁から「今月は100万円増」と言われていると、実際の納付額は97万円しかないという話を聞いて、1万円増減で済んだら、届けてほしいと、希望を届けたところ、これにより対応できるようになりました。

〇この「得意」による関係性を活用するため、納付データと個人の経験を活かして、手配が一貫して行われるようにしたのが今回の取り組みです。

福井県庁働き方改革事例集

申請業務のデジタル化による業務改革【効率化】

(1) 候補者

地域戦略部 D X 推進課 主事 朝日 江里久

(2) 成果

① 県所管手続のうち申請件数ベースで **90%** の行政手続をオンライン化

➡ 県民は、営業時間内に窓口へ書類を持参する必要がなくなり利便性が向上
行政は、申請受付の電子化により電子決裁への移行が加速し、業務効率化 & ペーパーレス

② 県市町所管の **約500** の公共施設における貸出業務をデジタル化

➡ 県民は、体育館や会議室等の予約や空き情報確認がスマホ等からの直感的な操作で完結
行政は、電話での予約受付や紙の予約台帳がデジタル化され、業務効率化 & ペーパーレス

(3) クレドの実践ポイント

① 既存業務の電子化に留まらない、**デジタルを前提とした業務見直し**を全庁的に推進

- 電子申請キャンプ：職員の意識変革と技術向上の両面からサポートするハンズオン研修
- 伴走型支援：デジタルツールだけでなく、運用や規定の見直しも含めて支援

② 県のみ取組に留まらず **市町と連携し、デジタル人材不足に悩む市町のDX推進**を支援

- 電子申請・施設予約システムを県市町共同で再構築し、市町の人的・財政的負担を軽減



電子申請



施設予約



電子申請キャンプ

運転日誌アプリを自ら作成・庁内で共有！【効率化】

(1) 候補者

丹南土木事務所 主事 横田 仁志 主任 中西 直之

DX推進課長推薦
令和4年度
いいね！チャレンジ最多得票

(2) 成果

多数の所属で行われる公用車の利用前後の届出をより効率的に行うため、自らkintoneを用いて「**運転日誌アプリ**」を作成し、所属内での導入に繋がった。従来、紙で行っていた業務のペーパーレス化と、集計作業の効率化を実現し、所属あたり **年間84時間分** の業務を削減見込み。
(日報作成Δ7.2H、月報作成Δ12H) さらに、「いいね！チャレンジ」(DX推進課実施)を通じて、

103名の職員から自所属の業務改善の参考になる等の声を集め、全庁的な業務改善の推進に寄与した。

【参考】：公用車を保有する所属数 155所属

(3) クレドの実践ポイント

- ・多くの職員が課題に感じる、全庁的な共通業務に係る改善を提案し、自所属に留まらない大きな業務改善に進展
- ・担当業務の隙間時間を活用し、費用をかけずに自らアプリを作成(挑戦、創意工夫、効率化)



物品マッチングの仕組み化【効率化】

(1) 候補者

業務改善タスクフォース物品マッチング班

審査指導課 主任 湯浅 一基 会計課 主任 水上 知子 企画主査 水島 克己

未来戦略課 主任 小西 富美子 人事課 主事 桑原 恵理

🏆 特別賞

(2) 成果

- 各所属における不要物品を出品し、**取得を希望する所属とのマッチングを行うポータルサイト「ぶつりゅう」**を構築
- 9月の運用開始以降、**100件以上**のマッチングが成立
- 使用済み物品のリユースを促進し、不要な物品購入を削減



(3) クレドの実践ポイント

- 譲りたい！探している！貸して！が登録できるよう制作（効率化）
- 使い慣れたTeams（Microsoft各製品と連携）を使うことで、登録、閲覧ともに利便性の高いシステムに制作（創意工夫）
- 学生に意見を聞き、使いやすさを向上（創意工夫）
- i-JAMPにも掲載（R5.1.16）官庁速報ランキングトップ1！**



